

図書館だより

平成 23 年 04 月 18 日 (月)

4 月号【No,01】

山形県立加茂水産高等学校・図書館

今年度の図書館だよりでは様々な特集を取り入れながら、皆さんに本の紹介をしていきたいと思います!

『私が読書を薦める理由』

テレビやラジオ、インターネットからは毎日様々な情報が流れてきます。これらの情報は聞きたい聞かたくないに関わらず一方的に目や耳から頭に入ってきます。つまりは、受け身の状態なのです。

読書はどうでしょうか？自分が読みたいものを選び読むことでしか頭に入ってくるものがないのです。自分で選択する自由があるのです。

読書は文字だけの世界ですが、自分の頭の中では主人公になることもできるし、舞台を好きな場所に置き換えることもできるのです。何よりも本を読むことで自分自身の想像の世界や思考の世界、空想の世界が無限に広がることです。また、長い文章を読むことで文章を書いたり、考えたりすることができるようになってきます。

漫画やテレビも面白いですが、是非、小説などの活字を読んで貰いたいと思っています。今の時代は様々な本が容易に手に入る時代です。更に良いことに高校生の君たちは自分で買わなくても、図書館に行けばいろいろな本があります。図書館を利用しない手はありませんね。大いに図書館を活用してください。

図書館利用のルール(再確認しよう！)

1. 館内に飲食物を持ち込まない。(お弁当・お菓子・ジュース類)
2. 無断持ち出しはしない、雑誌・新聞は貸出不可。
3. 携帯や音楽など大きい音は出さない。
4. 独占、又貸さない。(又貸し紛失は最初に借りた人から弁償してもらいます)
5. 閲覧後は元の場所へ。(わからない人は「迷子BOX」。適当な棚へ戻さない)
6. 借りた本は自己管理。(紛失・破れは弁償の対象になります)

守られない場合は図書館の利用を禁じます!

図書館開館日程表<4月>



変更あり

日	月	火	水	木	金	土
<u>3/27</u>	<u>28</u>	<u>29</u>	<u>30</u>	<u>31</u>	<u>4/1</u>	<u>2</u>
<u>3</u>	<u>4</u>	<u>5</u>	<u>6</u>	<u>7</u>	<u>8</u> 閉館	<u>9</u> 閉館
<u>10</u> 閉館	<u>11</u> 9:45 ~ 17:00	<u>12</u> 9:45 ~ 17:00	<u>13</u> 10:30 ~ 15:25	<u>14</u> 10:30 ~ 17:00	<u>15</u> 9:45 ~ 17:00	<u>16</u> 閉館
<u>17</u> 閉館	<u>18</u> 9:45 ~ 17:00	<u>19</u> 9:45 ~ 17:00	<u>20</u> 9:45 ~ 17:00	<u>21</u> 10:30 ~ 17:00	<u>22</u> 9:45 ~ 17:00	<u>23</u> 閉館
<u>24</u> 閉館	<u>25</u> 9:45 ~ 17:00	<u>26</u> 9:45 ~ 15:25	<u>27</u> 9:45 ~ 17:00	<u>28</u> 閉館	<u>29</u> 閉館	<u>30</u> 9:45 ~ 11:40



図書館の開館時間はこの図書館だよりでのみお知らせし、クラス掲示はしません。利用する人は予定表を確認して利用して下さい。

新着図書紹介

『おべんとうの時間』

阿部了/写真、阿部直美/文

お弁当でも開ける瞬間はなぜかドキドキする。おべんとうハンター阿部夫妻が全国各地でみつけた手作り弁当と思い出。弁当には青春と愛情がギッシリと詰まっている。



『ワタクシハ』羽田圭介/著

高校生ギタリストデビューを果たしたが、栄光も束の間バンドは解散。数年、大学三年秋、周囲は「シューカツ」に向けて慌しく動き出していた。「元有名人」枠で楽々内定を勝ち取れると思っていたが。



『麒麟の翼』東野圭吾/著

日本橋の欄干にもたれかかる男に声をかけた巡査が見たものは、胸に刺さったナイフだった。大会の真ん中で発生した事件の真相に迫る。東野圭吾作家生活 25 周年記念刊行第一弾・加賀シリーズ最新作!



『史上最強の内閣』

室積光/著

隠れていた「本当の内閣」!? 総理は京都の公家??日本向け中距離弾道核ミサイルが北挑戦より発射準備!?危機を前に日本全国から選りすりの密かに準備されていた「一軍内閣」が立ち上がった!



『おにぎり』

平山英三/文、平山和子/絵

炊きたてあつあつごはんをぎゅっ、ぎゅっ。手の中でくると回してのりを巻けば、三角おにぎりのできあがり。思わず手がのびるほどおいしいそうな、おにぎりの絵本です。



『ツナグ』辻村深月/著

一人と一度だけ、死者との再会を叶えてくれる人がいる。突然死したアイドルに。癌で逝った母に。喧嘩したまま亡くなった親友に。失踪した婚約者に。喪ったものを取り戻し、生きるために会いに行く。



『科学読本 10』

柳田理科雄/著

『科学読本』シリーズが刊行になって15年。『科学読本』がますます愛読されています。今度の真ん中で発生した事件の真相に迫る。人気作の漫画・アニメから絵本や童話など、「本当にありえるの?」な疑問を科学的に解説します!



『県庁おもてなし課』

有川浩/著

観光立県を目指し、若手職員・掛水は振興企画の一環で地元出身の人気作家の元へ。しかし、そこで思いもかけない言葉を浴びせられる。物語が元気にする、町、人、恋。ふるさとに恋する観光小説。



『花の鎖』湊かなえ/著

元英語講師の梨花。結婚後、子どもができずに悩む美雪。絵画講師の紗月。3人の女性の人生に影を落とす謎の男「K」とは……。『告白』で大ブレイクした湊かなえが描く女たちが紡ぐ感動のミステリ。



『放課後はミステリーとともに』

東川篤哉/著

本屋大賞第1位の作家が描いた学園ミステリ。放課後は謎でいっぱい。探偵部副部長・霧ヶ峰涼のギャグは冴えるが推理は五里霧中。果たして謎を解くのは?



『ぼくだけのこと』

森絵都/著

兄弟でぼくだけ、えくぼができる。クラスでぼくだけ逆立ちができる。学校でぼくだけ貧血で倒れた……など、日本中、世界中にひとりだけのぼくを発見する。



『エリセラさんご』

水木桂子/文、和田誠/絵

生まれたばかりの小さなもも色プラヌラが、海をただよい、やがて大きなさんごになりました。生命のすばらしさをうたいあげる絵本。巻末にはさんごの豊富なカラー写真を掲載。英語の対訳付き。



『おしまいのデート』

瀬尾まいこ/著

祖父と孫、元不良と老教師、仲良くもない同じクラスの男子同士、協力して公園で犬を飼うOLと男子学生。この世はいろんな“デート”で溢れている。



『たまごにいちゃん』

あきやまただし/作・絵

たまごにいちゃんといいます。ほんとうはもうたまごからでていないといけません。でもでたくないんです。たまごにいちゃんは、ずーっとたまごでいたいとおもっていました。



次号の図書館だよりは
新任の先生紹介 & お薦め
図書をお届けします。

